

中里小学校 学校だより

# おおくす

令和7年12月10日

第13号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し（共に学び、共に育つ）～

## あいさつをより良くするために

12月に入り、これまで以上に子どもたちのあいさつの声が響きわたるようになりました。とっても嬉しいことに「校長先生、おはようございます!」と元気よく言ってくれる子がものすごく増えました。

実は急にあいさつが活発になったのには理由があります。

以前、子どもたちを対象に行った『**学校をよりよくするためのアンケート**』の結果、「中里小学校のみんなはあいさつを頑張っている」という意見が多かったのですが、計画委員会の皆さんがもっともっとあいさつを良くすることができるのではないかと考え、代表委員会の議題に取り上げて話し合ってくれたのです。

議題は『**中里小学校のみんなのあいさつを よりよくするための取組について考えよう。**』でした。代表委員会での活発な意見交換の後、上に掲載している『**あいさつビンゴカード**』に取り組むことになりました。

これは、先生にあいさつをして、先生がうれしい気持ちになったら、先生がシールを渡す。4 ビンゴそろったら提出し、カードが多かった学級に賞状とメダルを渡す、というものです。『**先生たちからシールをもらうと特別感がある。**』と言った子もいました。

あいさつを活性化させる取組のひとつとして行っています(12/1～12/12)が、ここからさらに、気持ちの良いあいさつの定着につなげてほしいところです。シールをもらったからもういいや・・・とならないように・・・。

今月は、他にも人権週間に合わせて『**じんけんの花**』や『**中里小ふわふわの木**』に全校で取り組んでいます。



「おともだちに  
やさしくする。」  
「にこにこえが  
おでせいかつし  
よう。」



「ひとりだった時に  
友だちからあそび  
に行こうと言われ  
てうれしかった。」

## PTA の活動について

11 月最後の週には各学年が授業参観を実施し、いくつかの学年で親子レクレーションを行うことができました。年末の大変お忙しい中の多数のご参加誠にありがとうございました。また、学級役員の皆様方には、準備や進行等大変お世話になりました。ありがとうございました。

コロナ禍以降実施できていなかった「親子レク」でしたが参加された方はいかがだったでしょうか。久しぶりに親子で工作や運動に取り組み楽しかったという声もお聞きました。

本来、中里小学校の PTA 活動は、「保護者と教師が協力し、家庭・学校並びに地域社会における児童の健やかな成長をはかることを目的とする。」と会則第 3 条に明記されています。また、第 4 条 3には、その目的を達成するための活動例として「**レクレーション等を行い、会員相互の親睦を深める。**」と書かれています。

これらの会則は令和 7 年 4 月 25 日に実施された PTA 総会資料にすべて掲載されており、総会でも承認を得た内容ですがコロナ禍とともに PTA の活動がかなり曖昧になってしまっているのが現状です。

保護者の方々がお互いによく知らないまま学年を重ねるのではなく、懇談会や親子レクなどの機会に「〇〇ちゃんは、□□ばようがんばっとらすですね〜。」とか「この前は、うちの子が迷惑かけたみたいですね〜すみません。」「いやうちの子が悪かたですよ〜。」など面と向かってお互いに話をする機会が時々あれば余計なモヤモヤも起きないのではないかと考えるのです。そして、そのことは結局、子ども同士の関係を良くするようにも思います。

※本年度の役員会では「PTA 会則の見直し」を進めています。次年度の総会では、今の PTA の実態に合わせて整理された会則を提案できると考えておりますので令和 8 年 4 月に実施予定の総会にはぜひ多数のご参加をお願い致します。

